



## ホームタウン

「阿南は太平洋に面してるから年中暖かいよ。サーフィンができる海も近いし、時々芸能人も波乗りに来る。関西？近い近い」と当時、夫が言ったかどうかろう覚えだが、私はその言葉を信じて、兵庫県西宮市から阿南に嫁いだ。まるでリゾート地に来るような気持ちだった。



富岡町 吉積 晶子さん

あれから21年、何かに追われることもなく、自然の移り変わりと同じペースで暮らせることがとても心地いい。ローカルな車を待つのも楽しい。近所の人と世間話もできる。呼び出しベルの使い方も分かった。

「都会から来たら、ここは何にもないでしょう」と言われる。でも、季節ごとに移ろう自然は素晴らしく、おいしい水に旬の野菜と魚。家族も人も温かい。どこにいても世界とつながれる今だから、華やかさやにぎわいより魅力的でぜいたくなものがある。インテリアの仕事を通して、私の目から見える豊かさもつと自慢し、発信していきたい。ここはもう私のホームタウンとなっている。

次は、富岡町の表原立磨さんをお願いします。

それまでずっと関西で育ち、心齋橋で働いていた私にとつて、1時間待ちで手動ドアの自動車や、知らないのに親しげに話しかけてくるおじさんは衝撃的。飲食店の店員呼び出しベルは初めて見た。冬はまあまあ寒いし、関西まで…わりと遠いやん！（泣）

## 市民文芸

### 短歌

阿南市文化祭短歌大会選

ここいらに石文いしぶみ在りと思えども  
廃校跡は夏草の中  
小畑 定弘

祈りこめ誰言うもなく「ありがとう」一日終  
わりし安らぎにいて  
佐々木夫美

犬用の涼感シート敷きやれど小屋に入らず二  
匹は座る  
程野 茂

たった今思ひしことは何なるか一瞬忘れて茫  
然と立つ  
吉谷 富穂

庭先につゆ草一輪咲き初めて小さき秋の水色  
見つけた  
青木 弘子

野分きて稲穂田に伏し手刈りする畔の向うに  
雉の子三羽  
倉橋寿満子

狭庭辺に育てし花を幸せに繋ぎつなて今日も佛へ  
供う  
近藤 千代

初仕事部落総出の道づくり  
繁木 良子  
きのこ茶を賜う嶺寺初詣  
久米 千草

初観音灯明の芯明明と  
神野 信戒  
稚あづけ成人式の列に入り  
浜田百合子

棚飾り守る農家の奥座敷  
中富 範子  
先達の足跡踏みし雪の坂  
岩佐 初枝

三ヶ日籠り縫ひ上ぐキルトかな  
吉田 當代  
葉牡丹の渦に吉相潜むやに  
横井 知昭

観劇や隣の母と膝毛布  
森 君江

### 川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

大鯰おおなまと縁を切りたい日本人  
佐野 智子  
気がないと思わせぶりの恋の賭け  
原 公美子

女ですいささかの毒抱いてます  
野村 敏子  
一言をかけて介護の愛の匙  
持木 寿栄

モナリザが僕ばかり見る勘違い

### 俳句

阿南市俳句連合会選

初泳見上げる水面陽の乱舞  
喜多 啓吉